



生協ひろしま

CSR Report 2024

2023年度の事業・社会・環境についての報告



新たな役割と価値を創造し、持続可能な社会の実現へ

平素より生協ひろしまの事業と活動にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

生協はくらしをより豊かにしたいという組合員の願いを実現するために、みんなで話し合い、商品やサービス、くらしの見直しに取り組む協同組織です。おかげ様で生協ひろしまは今年、誕生40周年を迎え、県内約40万世帯が加入する消費者団体に成長いたしました。引き続き、私どもが掲げる理念、「より豊かなくらしの創造と平和な社会づくりに貢献」の実現に向け、組合員と共に協同の力を発揮していきたいと思ひます。

長引く、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナの紛争は未だ、収束の兆しが見えない中、多くの市民が犠牲になっています。ロシアによる核の威嚇は各国の核軍拡競争に拍車をかけ、小型の核兵器「使える核」の開発が進むなど、核抑止力の正当化と核兵器使用のハードルを下げる動きを生み、「核の危機」は一層高まっています。「平和」があってこそ私たちのくらしがあります。私たちはそのことを忘れてはいけません。戦争と核兵器という「絶対悪」をなくするためには市民一人ひとりの思いと力の結集が必要です。

生協ひろしまは被爆地ヒロシマにある生協として、創立以来戦争と核兵器のない世界の実現に向け、被爆の実相を継承する活動に取り組んできました。これからも組合員と共に、戦争も核兵器もない世界の実現に向けメッセージを発信し続けていきたいと思ひます。

戦争を端にした不安定な国際情勢は、記録的な円安の進行や原料、エネルギーコストの上昇による物価高騰を招き、私たちのくらし向きはますます厳しさを増しています。また、広がる経済格差や貧困、気候変動による環境問題、食料自給率の低迷、加速する少子高齢化や社会保障問題、労働力の減少など、私たちのくらしの今、そして未来につながる課題が山積しています。

生協は消費者運動の中で生まれ成長してきました。これまで食の安全やくらしの諸問題に対し、一定の成果と役割を果たしてきました。くらしを取り巻く状況は想像を超えるスピードで変化しています。変化に対応できる生協の新たな役割と存在価値の再構築は喫緊の課題となっています。宅配、店舗、福祉の事業をはじめ、くらしに関わる様々な活動を通じた協同の力を発揮するとともに、生産者、お取引先、自治体、地域の皆さまとのパートナーシップを強め、新たな役割と価値を創造し、持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。

本レポートは2023年度に取り組んだ事業、社会、環境についてまとめています。皆さまのご意見、ご提案を今後の活動に生かしていきたいと思います。



生協ひろしま 理事長
宗本 干城

基本理念

私たちは、協同の力でより豊かなくらしの創造と、
平和な社会づくりに貢献します

21世紀ビジョン

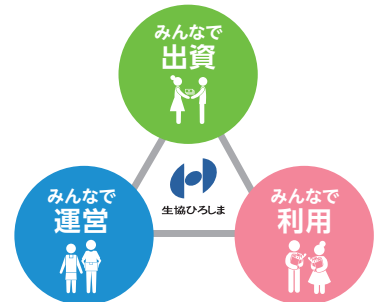
日々のくらしに役立つ生協づくり

生協づくり 3つのテーマ

- ① くらしに役立つ商品づくりを進めます。
- ② だれもが利用できる事業を進めます。
- ③ だれもが参加でき共に学び育つことのできる場づくりを進めます。

生協とは

生協はくらしを豊かにしたいという組合員の願いを実現するためにみんなが話しあい、力を合わせて商品を開発し商品やサービスを通じたくらしの見直しに取り組む消費者団体の協同組織です。一人ひとりには弱い立場の私たちもみんなで力を合わせれば大きな力を生み出すことができます。みんなの協力で作られている生協は組合員自身が出資し商品を利用し、自分（組合員）たちの手で進めていく組織です。



「生協ひろしま2030年ビジョン」テーマ ともに創ろう CO・OPの未来 GO!2030

生協ひろしまの理念のもと、私たちがめざす「ありたい姿」「果たすべき役割」を定めた2030年ビジョンを策定しました。
持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けて、2030年ビジョンの実践に取り組んでいます。

2030年ビジョンの取り組みと目標

1.『つながり』をたいせつにする社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
食品ロス削減活動	組合員認知率	2030 100%	1
ユニセフ募金活動	募金	毎年 3,000,000円	2
災害時復興支援・事業継続	災害基金	毎年 20,000,000円	3
子育て支援推進	子育て支援施設設置	2030 20か所	3
組合員のくらしに貢献	関連窓口設置	2025 2025年設置	3
減災・防災取り組み	幹部職員BCP学習	毎年 年2回	11
減災・防災取り組み	組合員学習参加率	2030 延べ10%	11

3. 健康にくらせる社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
組合員の健康づくりに貢献	GENKI体操参加	2030 年間延べ40,000人	3
組合員の健康づくりに貢献	学習機会参加	2030 年間延べ10,000人	4
組合員の健康づくりに貢献	職員のコンシェルジュ化	2026 2026年	3
高齢者対応における地域貢献	認知症サポーター養成講座受講率	2030 100%	3
不慮の事態における地域貢献	救命救急措置講座受講率	2030 100%	4
各自治体との連携	自治体と相互情報発信	2030 全23市町	11

2.『安全・安心』にくらせる社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
地域見守り	配送拠点設置	2030 20か所	11
地域見守り	夕食お届け食数	2030 1日3,700食	11
地域見守り	サポートカー全店舗配置	2023 11台	11
事業廃棄物削減	包材リサイクル率	2030 100%	12
食品廃棄物の削減	食品廃棄量削減	2030 50%	12
商品情報提供の強化	双方向通信による広報展開	2024 2024年開始	4
生協産直政策の継続	組合員・職員学習参加	2030 年間延べ10,000人	4
食の安全に関わる情報発信	学習の場開催	2030 年6回	4
エンカル消費学習と利用促進	組合員認知率	2030 100%	14.15
再生エネルギー利用推進	電気由来CO ₂ 削減	2030 70%	13
業務車両からのCO ₂ 排出量削減	車両由来CO ₂ 削減	2030 30%	13
コープでんき推進	供給電力CO ₂ 排出量	2030 0%	7
新システム構築	IT関連部署設置	2023 2023年設置	9
省資源化	業務用紙使用量削減	2030 70%	12
省資源化	カタログチラシ削減	2030 25%	12
障がい者雇用の安定・維持	法定雇用率継続	2030 2.3%	10
障がい者団体の支援	支援募金	毎年 年1,000,000円	10

4. 平和をめざす社会の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
平和活動推進	平和活動への参加	2030 年間延べ30,000人	16
平和募金活動	募金活動	毎年 年2,000,000円	16
核兵器廃絶行動	核兵器廃絶	2030 ゼロ発	16

5. 生協ひろしまの未来を担う人材・組織の実現

項目	年度	目標	SDGs 項目No.
地域に貢献する組織づくり	女性職員比率	2030 30%	5
地域に貢献する組織づくり	女性管理職比率	2030 20%	5
地域に貢献する組織づくり	新規総合職採用者確保	2030 年20人	8
地域に貢献する組織づくり	定年年齢延長	2030 70歳	8
組織内情報コミュニティ開設	WEB広報誌職員閲覧	2030 100%	9



ピースナイター2023を開催

8月6日(日)、プロ野球公式戦を通じて、核兵器の廃絶と平和をアピールする**16回目**の「ピースナイター2023」を開催しました。始球式は、被爆3世で呉市出身のシンガーソングライター瀬戸麻由さんがつとめ、5回裏には4年ぶりにグラウンドパフォーマンスが復活。ピースナイター新聞で緑に染まったスタンドでは、25mの高さに赤いピースラインが浮かび上がり、観客が一体となって平和への願いを発信しました。



被爆ピアノコンサートを開催

原爆の被害を乗り越えた被爆ピアノが奏でる音色は、聞く人の心に命の大切さ、平和の尊さを伝えます。2023年度は、県内3カ所で「被爆ピアノコンサート」を開催し、延べ**579名**の方が参加しました。「被爆ピアノコンサート」を通じて、被爆の実相を継承し、戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向けてヒロシマの願いを発信しました。



平和募金に取り組みました

平和募金に取り組み**5,619,918円**の協力がありました。募金は被爆者支援、継承活動団体の支援金、組合員による平和行事や平和活動の費用として活用されます。



折り鶴昇華再生事業

広島平和記念公園の原爆の子の像に国内外から捧げられる、平和の折り鶴を再生原料に商品化し、平和への思いを伝える「平和の折り鶴昇華再生事業」に取り組んでいます。2023年度は、各地域で折り鶴解体作業が16回行われ、**180kg**の折り鶴が解体されました。



碑めぐりガイドの会が35周年を迎えました

「生協ひろしま碑めぐりガイドの会」の活動35周年を記念し、広島平和記念公園で「ヒロシマの記憶をたどる上映会と碑めぐり」が開催され、**75名**が参加しました。

これからも、市内各所に点在する遺構をめぐり、平和の大切さと被爆の実相を伝える継承活動を続けていきます。



動画「核のない未来へ」で伝える平和への思い

「戦争も核兵器もない未来を、私たちは決して諦めてはいけません。」戦後の広島で、新聞記者として長年、被爆の実相を取材してきた元広島市長の平岡敬氏による平和のメッセージ動画を作成しました。



1991年～1999年広島市長を務める。被爆地の市長として被爆者の救済を訴え、海外での原爆展開催に尽力、原爆ドームの世界遺産登録にも力を注いだ。

平岡元広島市長のメッセージ動画

動画の視聴は
こちらから▶



市民平和行進を開催

8月4日(金)、4年ぶりに市民6団体が主催する市民平和行進が開催され組合員・役職員約**200名**が参加しました。参加者はピースメッセージが書かれたうちわを振りながら、地域の方へ「平和への願い」をアピールしました。



地域・社会貢献



フードドライブを開催

子ども食堂が要望している商品を組合員が店舗で購入し、支援品として贈呈する生協ひろしまオリジナルの

フードドライブを**7店舗**で開催し、

827点207,104円の協力がありました。

また、宅配では12月2回に大野支所限定で注文カタログから商品を選ぶ初のフードドライブを行い、

837名の組合員さんから**1,942点**の協力がありました。

支援品はNPO法人広島食堂支援センターほか支援団体を通して子ども食堂に贈呈されました。



第3回コープファミリーリレーマラソンinせらを開催

包括連携協定を締結している世羅町と地域の活性化に向けた具体的な取り組みとして、「第3回コープファミリーリレーマラソンinせら」を開催し、**140チーム1,100名**が参加しました。



買い物支援の実証実験

二次離島への買い物支援を目的にした、国土交通省が推奨する「スマートアイランド推進実証調査」に参加しました。AIを利用して自律運航するEV船で、大崎上島から生野島の3世帯へCO・OP商品をお届けしました。



買い物支援拠点の開設

神石高原町との包括的連携協定項目にある「住民等の日常生活支援に関すること」への具体的な取り組みとして、買い物困難地域である古川地区の集会所を活用した買い物支援の拠点を開設しました。



障がい者支援募金

障がい者支援募金に取り組み、

2,410,461円の協力をいただきました。募金はきょうされん広島支部をはじめ、県内で障がい者を支援する団体に助成金として贈呈されました。



くらしの助けあい

くらしの助けあいは2023年度、「あなたの手 わたしの手 よりそう手」をテーマに活動しました。

活動者は延べ**1,020名**、

援助希望者は延べ**1,117名**、

活動時間は延べ**6,676.5時間**でした。



子育て支援

子育て中の親子が気軽に集い、悩みや相談ができる子育て支援センター「コーぶらざ」をコープ東広島とコープ西風新都の施設内に設置しています。毎月子育てイベントも開催され、親子の交流の場になっています。



能登半島地震緊急支援募金

令和6年能登半島地震緊急支援募金に取り組み

34,250,543円

の協力をいただきました。

募金は日本生協連を通して被災者支援のための義援金および復旧のための活動に活用されます。

災害支援ボランティア要員を派遣

1月から3月、令和6年能登半島地震により

コープいしかわへ配送同乗支援に**3名**、

災害支援ボランティアに**1名**を派遣しました。



広島お好み焼き隊

2020年7月に発生した熊本豪雨災害の被災地に「広島お好み焼き隊」を派遣し、熊本県球磨村の仮設住民を対象に

100枚200食のお好み焼きをふるまいました。



CO・OP商品とは

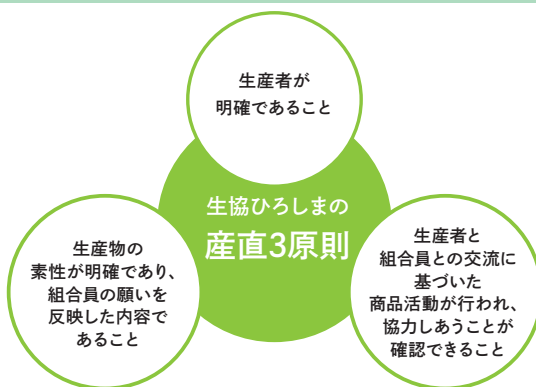
CO・OP商品とは、生協組合員の普段の暮らしに役立つ商品として、コープが定めた商品仕様書に基づき、コープとのパートナーシップが形成されたメーカーや工場、産地に委託してつくる商品です。

コープ商品は、安全性を確保し、組合員が求めるおいしさ、品質・機能、わかりやすい情報提供と利用しやすい価格をめざす、コープのオリジナル商品です。



生協ひろしまの産直とは

県内外の生産者と組合員、生協ひろしまで産直3原則を基本に、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境の安全、資源の循環など食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。



らんらん交流会を開催

せら夢公園で4年ぶりとなるらんらん交流会を開催。2022年に鳥インフルエンザの影響を受けた産地を盛り上げるため、生産者さんへのメッセージやイラストコンテストが企画され、「産直こめたまご」の復活を応援しました。



甲奴牛乳産地交流会

三次市甲奴ウイングドームで甲奴牛乳交流会を開催。バーベキューや手作りバター体験、牧場の見学、牛の餌やり体験を通して、メーカーや酪農家の方々と交流を深め、地産地消の大切さを学びました。



産直商品に仲間入り

(株) ハートランドで栽培・出荷している農産物が、生協ひろしまの定める「産直3原則」を順守・維持していくことを前提に産直商品に登録され、10月から宅配・店舗で販売を開始しました。



エシカル消費の一例

社会



ピンクリボン運動
コープ化粧品・カタログ「くらしと生協」の女性下着1点購入につき1円が認定NPO法人J.POSHに寄付され、乳がんに対する啓発と患者や家族の支援のために活用されます。

教育



障害者ノルディック応援キャンペーン
CO・OP応援食クッキー1点購入につき1円が日本障害者スキー連盟に寄付され「障害者ノルディックスキー日本ジュニアチーム」の活動資金として活用されます。

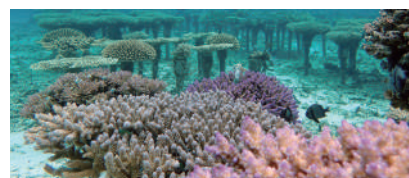
環境



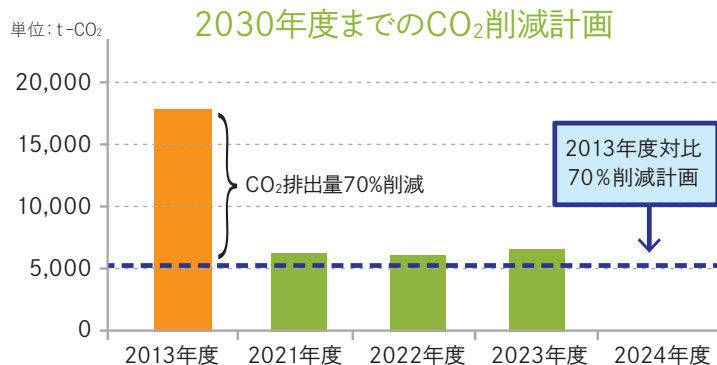
スマイルグリーンプロジェクト
CO・OPティッシュ、芯なしトイレトペーパー(コアノンシリーズを除く)1点購入につき1円がWWFジャパンを通じてブラジルに寄付され、森林を再生し、人と自然、動物たちが共存できる環境づくりに活用されます。

もずく基金

対象商品1点購入につき1円～2円を積み立てる「もずく基金」に**7,461,555円**の協力がありました。基金はサンゴ礁再生事業やサンゴの養殖などに活用され、恩納村の海のサンゴ保全に役立てられています。



2030年度までにCO₂排出量を70%削減します (2013年度対比)



2030年度までに70%のCO₂削減に取り組みます。

2023年度は店舗の照明器具や設備の省エネ化、こまめな消灯に取り組み、70%の削減計画に対して、64.1%まで削減しています。

生協ひろしまの5事業所の屋根に太陽光発電装置を設置し、CO₂の削減に取り組んでいます。2023年度は593,940kWh/年を発電し、売電と自家消費に使用しました。



コープでんき

今日から一緒に 未来のためのエネルギー

累計契約件数が7,126件になりました。(2024年3月末現在)

事業開始から着実に契約保有件数は増加しています。

多くの方に「コープでんき」をご利用いただき、家庭から排出されるCO₂排出量を削減することを目的に2030年には15,000件の契約保有件数を目標としています。

協同のチカラでCO₂を削減

生協ひろしまの事業で70%CO₂削減

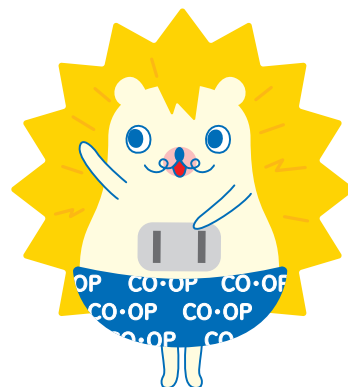
2050年度までに90%CO₂削減

組合員の「コープでんき」のご利用で

家庭のCO₂排出量を1年間で

約20%削減

※地域大手電力会社対比
(2021年度CO₂排出係数値にて試算)



コープでんきのキャラクター「こぶでん」

コープでんき
「こぶでん」
動画紹介



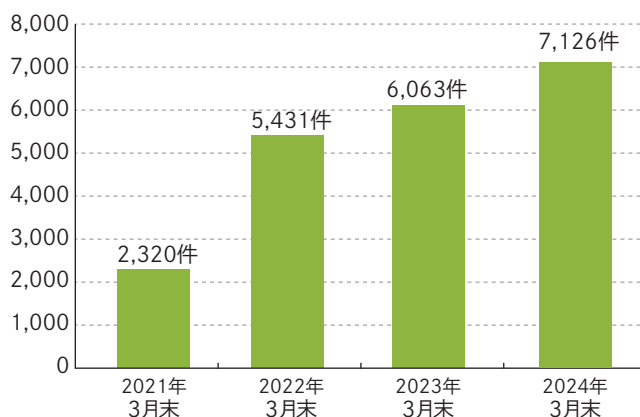
現在、計画を上回る組合員にご契約をいただいています。

契約組合員の声

「コープでんき」を利用することで、環境への意識が変わり生活スタイルも変わってきました。



コープでんき契約件数の推移



電気、車両燃料等の使用量

項 目	使用量	単 位	前年対比
電気	11,577	千kWh	100.1%
都市ガス	20,777	m ³	104.6%
LPガス	15,323	m ³	93.9%
水道	48,855	m ³	97.4%
車両（軽油）	461,983	ℓ	98.8%
車両（ガソリン）	416,129	ℓ	98.0%
注文書等商品案内	6,077	t	95.9%
シッパー内袋	201	t	100.0%
レジ袋	3.6	t	105.9%
トレイ	12.2	t	105.2%
ラップ（インスター）	8.6	t	106.2%

環境保全コスト

生協ひろしまでは環境保全を効果的に推進していくため環境保全に負荷のかかる費用と効果の進捗状況を記録しています。

(単位:千円)

主な取り組み内容	21年度	22年度	23年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	2,777	2,736	2,812	102.8%
生ごみ、廃食油、魚残さのリサイクル	3,983	4,060	3,971	97.8%
一般・産業廃棄物の処理・処分、ごみ袋	27,075	27,294	26,860	98.4%
害虫駆除	2,675	2,712	2,722	100.4%
再商品化委託料	1,750	1,555	1,888	121.4%
合 計	38,260	38,357	38,253	99.7%

主な取り組み内容	22年度	23年度
食品リサイクル率	64.3%	65.5%
レジ袋削減を推進（マイバック持参）	88.30%	88.28%



リサイクル推移

項 目	回収形態	回収実績量(t)					前年対比	再生品
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
飲用パック	支所・店舗	64.1	66.7	65.0	64.7	62.6	96.8%	コアノンロール
たまごパック	支所・店舗	47.0	49.2	48.8	42.6	51.5	120.9%	たまごパック
発泡トレイ	支所・店舗	16.6	16.9	16.9	17.2	18.3	106.4%	トレイ
透明トレイ	店舗	6.6	7.3	8.8	9.1	10.4	114.3%	トレイ
シッパー内袋	支所	45.5	46.2	43.1	45.5	44.9	98.7%	再生フィルム、文房具
チラシ類	支所	4,755	4,824	4,928	4,970	4,708	94.7%	チラシ
ペットボトル	店舗	21.8	21.3	23.9	25.8	22.5	87.2%	プラスチック原料
合 計		4,956.6	5,031.6	5,134.5	5,174.9	4,918.2	95.0%	

本部の照明機器をLED化

大野事務所（本部）の照明機器をすべてLED照明に更新。



食品廃棄量の削減

2023年度の
食品リサイクル率は**65.5%**

各店舗から排出される野菜くずなどを肥料などにリサイクルし、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。



店舗のショーケースを省電力に代替

全店舗の照明機器をエネルギー効率の高いLED照明に更新しました。



組織概要 (2024年3月31日現在)		活動エリア 広島県全域 (定款)	出資金額 135.3億円	職員数	役員
名称	生活協同組合ひろしま	組合員数 399,041名	供給高 480億372万円	総合職員 555人	理事長 宗本干城
創立	1984年10月(昭和59年)	県内加入率 31.8%	福祉事業収入 14億184万円	専任職員 334人	専務理事 高浦美穂
本部	広島市西区草津港2-8-42		福祉事業収入 14億184万円	パートナー職員 554人	常務理事 重津光彦
			※供給高は組合員との取引価格総額	福祉専門職員 207人	常勤理事 高橋房大
				ヘルパー登録者 305人	常勤理事 重信 均
					常勤監事 波田啓隆

組合員数

399,041名
(計画比 98.8% 前年比 99.9%)

出資金

135.3億円
(計画比 99.3% 前年比 100.7%)

2023年度事業状況

※数字は2024年3月末現在
※供給高は組合員との取引価格総額

供給高

480.0億円 (計画比 101.6%
前年比 100.4%)

宅配事業

393.5億円 (計画比 101.4%
前年比 99.8%)

店舗

86.5億円 (計画比 102.4%
前年比 102.9%)

移動店舗(ぶちこーぷ)

7台稼働中

廿日市市・佐伯区・西区・安佐南区・安佐北区・東区・
安芸高田市・呉市・大竹市など382ポイントを配送

供給高

1.30億円 (計画比 96.5%
前年比 106.6%)

福祉事業

14.0億円 (計画比 93.2%
前年比 100.4%)

eふれんず(インターネット注文)

供給高

62.9億円 (供給高に占める割合16%)

会員数

98,264名

夕食宅配(おもいやりコープ弁当便)

平均食数

2,986食/日 (前年比 84.0%)

会員数

24,598名 (前年比 107.1%)

供給高

6.1億円(前年比101.7%)

「声」を届けました。

【私もひとこと】

●3,153件 ※注文書等での受付

【あなたの声いかします】

●160件 ※店舗で受付

【こーぷばれっとへのお便り】

●1,930件

【ホームページ】

●訪問者数/375,442件

●メール/698件 (前年比67.8%)

「お互いさま」の輪

【くらしの助けあい】 (2023年4月～2024年3月)

●活動協力金/2,267,243円

●総活動時間/6,676.5時間

●援助希望者数/延べ1,117名

●活動者数/延べ1,020名

協同の心を届けました。

【募金等】

●平和募金 5,619,918円

●障がい者支援募金 2,410,461円

●ユニセフお年玉募金 2,996,083円

●トルコ・シリア緊急支援募金 12,256,192円

●もずく基金 746,155円

●コアノンスマイルスクールプロジェクト 15,203,160円
(日本生協連全体)

●ピンクリボン運動 1,527,961円
(日本生協連全体)

●洗剤環境寄付キャンペーン 3,121,378円
(日本生協連全体)

【署 名】

障がい者福祉についての 7,821筆
法制度拡充を求める請願署名

編集方針

生協ひろしまは2006年に「企業の社会的責任」を意味するCSR経営を進めることを宣言しました。事業と組合員活動から成り立つ生協ひろしまの取り組みをステークホルダーの皆さまに報告いたします。この報告書は生協ひろしまの基本理念に則して推進している生協ひろしまの事業や活動、その進捗状況を報告することを基本とします。